

は厚生省（現  
が五月三十一  
日を禁煙週間と  
（中場雅己）

## 成へ に搬入

市内の日本酒  
造会社五社の  
、農林業舎の  
計五人で建屋  
た。昨年は低溫  
日本酒二百四十

しており、今年は  
た。一年間貯  
成大野屋結集  
。ふるさと納  
しても活用す  
蔵人の岡本健  
一低温で微妙  
る環境で保存  
まろやかさの  
な味が引き出  
ろい味になる  
の商品とも飲  
えれば」と話  
（正津聡）

建屋内に日本酒を運び込む  
職員＝大野市の荒島風穴で

## 奥越向けの施工法実践

大工塾最終回 若手ら断熱など学ぶ



宮崎直也さん（右から3人目）の指導で高性能な断熱と気密の施工法を学ぶ参加者ら＝大野市春日で

若手大工への技術継承を  
目的とした第五回奥越大工  
塾の実技講習が二十九日、  
大野市春日の住宅改築現場  
であった。冬の寒さが厳し  
い奥越ならではの高性能な  
断熱・気密住宅の施工法  
を、参加者たちが学んだ。

県建築組合連合会奥越ブ  
ロック会が主催し、地元を  
中心に県内各地の大工十六  
人が参加。寒冷地帯の新潟  
県阿賀野市で、高断熱・高  
気密住宅を施工する宮崎直  
也さん（三）が、講師を務め  
た。木造二階建て住宅の改  
築現場で実習し、「伝統的  
な家造りと新しい技術の融  
合で、新築以上の性能実  
現」がテーマ。これまで  
床、壁の実習を終えてお  
り、この日は天井の改修に  
取り組んだ。

天井裏には通常の四倍の  
断熱材を敷き詰め、気密性  
を高めるために断熱材をビ  
ニールで覆い、天井と壁の  
隙間を埋めるための施工も  
した。壁や床も同様の対応  
をした。宮崎さんは知識だ  
けでは分かりにくい施工の  
ポイントを、日頃取り組ん  
でいる経験を基に分かりや  
すくアドバイスしていた。

奥越大工塾は、地域に受  
け継がれてきた伝統的家造  
りの技術を地域全体に広め  
ようと二〇一二年にスタ  
ートし、この日が最終回とな  
った。

事務局の奥田徹さん（五）  
は「本来の大工の技術を発  
揮する場が減る中、大工塾  
を始めた。違う形で活動を  
引き継いでいきたい」と話  
した。

（正津聡）